

1 週間が終わろうとしています。昨日、全国に緊急事態宣言が出されました。感染が広がる大都市から、地方へと行く人が増えているためです。ともかくおとなしく家にいましょう。

校長室から外を見えています。どこからか小鳥の声が聞こえてきます。なんともどかな風景、というより物悲しい風景に見えてしまいます。桜の木もすっかり花は散り、葉桜となりました。また来年の春きれいな花を咲かせてくれるんだろうな。ふと下を見ると色鮮やかなピンクの花。これは「つつじ」でしょうか「さつき」でしょうか。この二つの花はとても似ています。どっちなんだろう。そう思い、「つつじ」と「さつき」の違いを調べてみました。

「さつき」はツツジ科の常緑低木でツツジの一種、と書いてあります。なるほど、だから似てるのです。わかりやすいのは葉の大きさの違い。大きいのがつつじで、小さいのがさつき。そして触ってみると柔らかいのがつつじで、硬いのがさつき。花も大きいのがつつじで、小さいのがさつき。そしてつつじは4月から5月に咲き始め、そのあとにさつきが咲く。ということは校長室の下に咲いているのは、「つつじ」。

興味深かったのは花言葉。

「つつじ」は「節度」、「さつき」は「節約、制約」だそうです。



## 七中生へのメッセージ（4月17日）

自らを自らの手で自律的にコントロールできる制御の利いた存在者として自らを育ててきたか否か？

この言葉は私が尊敬する心理学者で認知行動科学という学問の研究者、西川泰夫博士のお言葉です。『何か問題に直面したとき』、『どうして良いか分からない問題や言いようのない不安に襲われたとき』、『何故かイライラしてしまう自分がいるとき』、そんな時こそ「制御の利いた人間」として存在してほしいという意味です。

様々な場面で自己判断が要求され、自ら決めて行動しなくてはならないことがこれから生きていく上でたくさん出てくると思います。イライラすることもあるでしょう。しかし自分のとった行動には責任が付きまとうことになります。

だからこそ「冷静な判断力」がとても大切です。心を広く、余裕をもって、そしてよく考えてから行動してくださいネ！

（2）年（清 水 肇）